

食料産業クラスター形成促進技術フェア(東日本)の開催

～フード・テクノフェア in つくば 2007 の開催～

1 フード・テクノフェア in つくば 2007

2007年11月9日（金）つくば国際会議場（エポカルつくば）において、食料産業クラスター形成促進技術フェアが、「フード・テクノフェア in つくば 2007」を構成する一つのイベントとして開催された。

フード・テクノフェア in つくば 2007 は、(独) 農研機構 食品総合研究所（以下「食品総合研究所」と略す）が実施している「食品総合研究所第25回公開講演会」及び「研究成果展示会 2007」と(社) 食品需給研究センターが実施する「食料産業クラスター形成促進技術フェア」、食品総合研究所を中心とするつくば周辺の食品関連産業が集った「フード・フォーラム・つくば」の「企業交流展示会」を同期開催したものである。主催者は、食品総合研究所、(社) 食品需給研究センター及び農林水産省関東農政局、フード・フォーラム・つくばである。

ここでは、学識経験者等によるプレゼンテーションのほか、地域における食料産業クラスターの取組みの紹介や関係団体による施策の紹介など、食料産業クラスター形成に関連したさまざまな情報の提供を目的とした「食料産業クラスター形成促進技術フェア」を中心にレポートする。

1.1. フェアの構成

「食料産業クラスター形成促進技術フェア」を含む、「フード・テクノフェア in つくば 2007」の総合開会式として、食品総合研究所 林 徹 所長、(社) 食品需給センター 石井 正昭専務理事によるご挨拶を頂いた。

フェアの構成は、1階多目的ホールでは「食品総合研究所研究成果展示会 2007（終日）」、中ホールでは「食品総合研究所 第25回公開講演会（13:00～14:00）」が、食品総合研究所主催で開催された。



フード・テクノフェア in つくば 総合受付



総合受付から展示会場を望む



(独) 農研機構 食品総合研究所 林 徹 所長のご挨拶



(社) 食品需給研究センター 石井 正昭 専務のご挨拶



食料産業クラスター形成促進技術フェア出展受付



食料産業クラスター形成促進技術フェア会場内②



食料産業クラスター形成促進技術フェア会場内①



ショートプレゼンテーション会場

多目的ホールに隣接する 101・102 大会議室では、「食料産業クラスター形成促進技術フェア（終日）」、「フード・フォーラム・つくば企業交流展示会（終日）」が実施されるとともに、大会議室内の出展機関による「ショートプレゼンテーション（午前 11:00～12:00、午後 14:00～15:30）」が、開催された。また、大会議室前に茨城県の加工食品のブースを設け、地域の新規加工食品の紹介が行われた。

2 食料産業クラスター形成促進技術フェア

2.1. 出展機関によるパネル展示

（社）食品需給研究センターが主催する食料産業クラスター形成促進技術フェアでは、農林水産省が推進する「食料産業クラスター形成促進技術対策事業」の一環として、地域における産業ニーズと技術シーズのマッチングを図るべく、食料産業に関連する技術報告、食料産業クラスターの取組み紹介やクラスター形成のための関連情報提供の場として、以下 28 機関がポスター展示を行った。

◇食料産業クラスターの取組み紹介

（出展者：（社）食品需給研究センター、農林水産省関東農政局）

◇クラスター形成のための関連技術情報提供

（出展者：青森県ふるさと食品研究センター、山形県農業総合研究センター、山形県工業技術センター、山形県工業技術センター 庄内試験場、茨城県工業技術センター、茨城県農業総合センター 園芸研究所、栃木県産業技術センター、埼玉県産業技術総合センター 北部研究所、東京都農林総合研究センター 食品技術センター、新潟県農業総合研究所 食品研究センター、石川県農業総合研究センター、奈良県工業技術センター、鳥取県産業技術センター、岡山県工業技術センター、福岡県工業技術センター 生物食品研究所、茨城ライフサポートコンソーシアム、東京農業大学、日本大学産官学連携知財センター（NUBIC）、共立女子大学、愛国学園短期大学）

◇技術開発関連事業等の紹介

（出展者：（独）農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター、（社）農林水産技術情報協会、（社）農林水産先端技術産業振興センター、（社）日本食品科学工学会 事務局、（社）日本技術士会プロジェクトチーム 食品技術士センター、（独）農林水産消費安全技術センター）

【午前の部】

No.	発表時間	組織名	発表課題
1	11:00～11:10	関東農政局	関東地域の食料産業クラスターの取組について
2	11:10～11:20	(社)食品需給研究センター	食料産業クラスター促進技術対策事業の紹介
3	11:20～11:30	(社)日本食品科学工学会 事務局	地域食品産業の技術開発力向上支援事業の紹介
4	11:30～11:40	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター	生研センターが提供する競争的資金制度等について
5	11:40～11:50	石川県農業総合研究センター	農水産物の脂溶性機能性成分CDラップを用いた新規食品の開発

【午後の部】

No.	発表時間	組織名	発表課題
6	14:00～14:10	(社)日本技術士会プロジェクトチーム	食品技術士センターの業務紹介
7	14:10～14:20	共立女子大学家政学部	サゴヤシ変種澱粉の性質と分類
8	14:20～14:30	愛国学園短期大学	各種澱粉のとりみ剤への利用適性
9	14:30～14:40	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	食品分野に向けた普及型動的粘弾性測定装置
10	14:40～14:50	(株)インテリジェントセンサーテクノロジー	味覚センサーとその活用法
11	14:50～15:00	木内酒造合資会社、茨城県工業技術センター	ビールからのピネガー造り

【(社)食品需給研究センター 特別発表】

発表時間	発表者	演題
15:00～15:30	大野特許事務所 弁理士 大野 晃秀	食品産業における知的財産の戦略的利活用 ～特許・意匠権・商標権のトピックを具体的な食品を用いて解説～

ショートプレゼンテーション発表課題

2.2. ショートプレゼンテーション

101・102 大会議室内並びに大会議室前に出展した機関の中から、1 機関 10 分で事業紹介のためのショートプレゼンテーションを行った。

プレゼンを行った機関は 11 機関と食品需給研究センターの特別発表である。各機関とも 10 分間という短い時間の中、各事業や活動内容を端的に紹介し、大変有意義な時間となった。

フェア来場者からも、「ショートプレゼンテーションは限られた時間内に展示をこまめに見ようとする参加者にとっては、ただでと時間を取られることがなく、ありがたいシステムだと感じた」とのコメントを頂くことができた。

ショートプレゼンテーションの最後に、弁理士大野晃秀氏による、「食品産業における知的財産の戦略的利活用」と題した知的財産権の活用方法を紹介するための特別発表が行われた。

特別発表では、知的財産権の紹介に加え、実際の加工食品を題材として、弁理士の視点から見た知的財産の戦略的利活用について講演が行われた。プレゼンテーション終了後、活発な質疑応答の場が持たれた。

3 連携によるフェア開催の意義

3.1. これまでの開催概要と本年度の比較

「フード・テクノフェア in つくば」は、食品総合研究所と食料産業クラスター促進技術対策事業との連携により実施され、本年度で 3 回目を迎えた。

本年度は、これまでの食品総合研究所、食料産業クラスター促進技術対策事業実施機関及び関東農政局の連携の輪に、食品製造業を中心とした研究所のグループであるフード・フォーラム・つくばや茨城県の加工食品事業者の連携もあり、これまでにない食品の研究から製造・加工までのイベントとしての流れを構築することができた。

これら一連の流れによるブース設置、プレゼンテーションの実施から、参加者の多くが各会場に分散し、参加者自身が見たい技術や製品開発の内容を、見たい時にその場所を提供する会場導線のシステムが構築され、各会場ともほぼ終日満員といった状況が作り出されることとなった。

3.2. 産学官連携におけるイベントの目的と成果

食料産業における産学官連携のイベントは、地域等で研究されている技術開発シーズを如何にして、食品メーカー等が持ち得る製品開発ニーズに結びつけるかがポイントとなる。

その意味においては、「フード・テクノフェア in つくば」のような、食品総合研究所の研究者による先端技術のシーズ提供、食料産業クラスター促進技術対策事業による大学、公設試験所場のシーズ提供及び、関連団体の技術開発や地域連携の支援事業の紹介、更には、フード・フォーラム・つくばによる民間企業の研究成果紹介及び茨城県に協力いただいた県内加工食品事業者による新規加工食品の展示など、多様な連携の機会を創出することで、その成果達成への近道になることも考えられる。

Food Marketing Research & Information Center
食料産業クラスター ～関連情報（ルポ）～

本年度の「フード・テクノフェア in つくば」は、参加者の総数は700名を超え、年々活況となっている。

このようなイベントを繰り返すことで、広く参加者の認知度も向上し、食料産業に関わる各セクターに対し、更なる成果達成のためのマッチングツールとして広く活用されてゆくことが望まれる。

既に、フェアの中心となる食品総合研究所では、来年度の開催を平成20年10月31日で予定している。本年度の成果を活かし、より幅広い主催者連携の構築により、今年度以上の効果的な取組みが期待される。



フード・フォーラム・つくば企業交流展示会



食品総合研究所 研究成果展示会 2007



食品総合研究所 第25回公開講演会



大会議室前～茨城県の加工食品ブース



(文：社団法人食品需給研究センター
松崎 朋子・長谷川 潤一)